

令和3年度学校評価シート

学校目標:いのちと人権を大切にし、ふるさとを愛し　こころ豊かで夢に挑戦する　自立した生徒の育成

R4.3.10

評価計画						自己評価						新改善計画	学校関係者評価
観点	項目	具体的方策	評価指標	目標値 (昨年度)	前期評価	達成値 (今年度)	評価アンケート			昨年 評価	評価		コメント
							教職員	生徒	保護者				
確かな学力の定着	目標を持った学校生活	夢や目標の意識化	目標を持って取り組んだ生徒の指数昨年度以上	2.3	2.4	2.4	2.6	2.4	2.2	A	A	①コロナ感染症予防の観点の踏まえての、授業スタイルの構築と学力保障。②「加美中学学習スタイル」の意思統一と徹底。③実効的な小中連携体制の構築と実践。④家庭学習強化月間の実施と、「家庭学習の手引き」の有効活用ならびに学習相談日の実施。⑤計画的な研究授業の実施と保護者への周知。⑥授業時数の確保と反復練習による基礎学力の定着。⑥学力向上プランの作成実行。	○昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症まん延下で、学校教育を維持していくには大変な苦労があったことと推察される。その中において、学習成果を上げた点に関しては大きく評価できる。学校の教育活動がコロナ以前の状況に回復するにはまだまだ時間が必要かと思うが、引き続き、先生方の取組に期待している。 ○家庭学習に関しては、数値的には昨年度と同程度となっているが、「学びに向かう姿勢」を育てる意味でも生徒にその重要性を意識させつつ、タブレット教材の導入等「自学」しやすい環境を整えることが大切であると思う。また、先生方のICT活用スキルを向上させるとともに、それ以外の部分の「授業力」も大切にして欲しい。
	読書の推奨	読書記録による表彰	年間読書量12冊以上の生徒数昨年度以上(4～10月度7冊以上)	25	39	31				B	A		
	家庭学習の習慣化	「家庭学習の手引き」活用と啓発	家庭学習をしている生徒の指数の昨年度以上	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	1.9	C	B		
	楽しく分かりやすい授業	計画的な授業公開による授業改善	授業が楽しく分かりやすいと感じる生徒の指数昨年度以上	2.1	2.0	2.2	2.6	2.2	2.0	B	A		
	学力の向上	学力向上プランを活かした授業改善	調査結果を生かした授業改善を評価する教員の指数一昨年度以上	2.2	2.0	2.3	2.3			B	A		
豊かなこころ	道徳教育の充実	年1度の授業公開と学年団の授業	道徳指導の工夫改善をした教員の指数昨年度以上	1.9	2.1	2.5	2.5	2.5	2.1	C	A	①道徳の時間数確保と学年団による道徳の指導。オープンスクールでの道徳授業の公開と研究授業の実施。②PDCA(*2)による学校行事の工夫改善と、コロナ禍での新たな生活様式に対応した形態の構築。③キャリア教育(*5)の年間計画や人権教育の全体計画の実行。④コロナ下でのボランティア活動の再構築⑤生活部による各種キャンペーンの実施ならびに表彰⑥掃除分担区の見直しと黙々掃除の実施及び清掃指導場所の明確化。⑦手伝いの奨励や個々の生活スケジュール計画など、家庭での生活状況の啓発。⑧定期的な生活状況調査の実施。	○以前からある加美中学校のホワットした雰囲気が、今も受け継がれていることを嬉しく感じている。 ○登校時の見守り活動をしていて、朗らかな挨拶を返してくれる生徒も多く、こども達の姿にいつも元気をもらっている。ただ、中には、挨拶の声が小さく、心配に思えるこどももいる。気持ちはあるように感じるので、自信を持って自分を表現できるようこれからも指導願いたい。 ○ボランティア活動に関しては、このコロナ禍の中、受け入れ先が限られていることは理解できる。ここは、ボランティア活動を「どこかに出かけていく活動」から、「地域に貢献できることを考え実践する活動」に捉え直してはどうか。再活性化していけるよう頑張っ
	ボランティア活動の充実	ボランティア活動の場の設定と記録の保存	ボランティア活動に取り組む生徒の指数昨年度以上	1.3	1.3	1.1	2.2	1.1	1.1	C	C		
	規範意識の育成	道徳の授業を重視した学級経営	きまりを守る生徒の指数2.5以上	2.6	2.7	2.7	2.6	2.7	2.5	A	A		
	挨拶の習慣化	学校だより等による賞賛や生活三訓の掲示等による意識付け	学校家庭地域で挨拶をする生徒の指数2.5以上	2.7	2.7	2.8	2.6	2.8	2.5	A	A		
	時間の遵守	生活三訓の掲示等による意識付けと生徒会生活部との連携	学校で時間を守る生徒の指数2.5以上	2.6	2.7	2.6	2.6	2.6	1.8	B	B		
	美化意識の高揚	生活三訓の掲示等による意識付けと生徒会美化部との連携	清掃を一生懸命する生徒の指数昨年度以上	2.5	2.7	2.6	2.3	2.6	1.8	B	B		
	学校行事の工夫改善	行事評価による工夫改善	学校行事を工夫改善した教員の指数昨年度以上	2.3	2.3	2.4	2.4	2.8	2.5	A	A		
健やかな体	SNS運動の取組	生徒会による新ルールの周知と家庭や町教委と連携した取組	生徒のSNS運動取組の指数昨年度以上	2.2	2.1	1.9	1.9	1.9	2.1	B	C	①GIGAスクール構想にともなうネットリテラシーの継続指導と、生徒会とタイアップした自治的活動によるSNSルール遵守活動の促進。②学校保健委員会で策定した睡眠時間の確保。③体力向上委員会をふまえた体力向上プランの実行。④危険予測力向上をめざした多様な想定での訓練等の実行。	○生徒のネットリテラシー向上がより一層求められている。GIGAスクール構想が急速前倒しで導入されたこともあるかと思うが、今後、使用におけるルール作りを早急に進めてもらいたい。 また、スマホ等のトラブルにも注意喚起をお願いしたい。 ○道路工事に伴う通学路変更が継続しているが、バイパス完成が早まることもあり、安全な登下校が出来るよう再度指導を徹底してもらいたい。信号の設置など、地域や関係機関との連携が必要なこともあるが、積極的に進めて欲しい。
	柔軟性向上とケガ防止	学校保健委員会のケガ防止プランの実行	日本学校スポーツ振興センターにかかるケガの総件数(4月～1月)昨年度以下	30		25				A	A		
	防災安全への取組	多様な想定での訓練等の実施	生徒の災害事故への心構えの指数昨年度以上	2.3	2.4	2.4	2.7	2.4	2.3	A	A		
信頼に応える学校	学校の情報公開	便りやHP(*3)で積極的情報発信	情報公開を評価する保護者の指数2.5以上	2.4	2.4	2.3	2.4	2.5	2.3	B	B	①SC(*4)等のより一層の活用。（授業・研修・不登校生徒等の相談）②窓口を一本化し、関係機関と適切に連携。③ケース会議を定例化するなど組織対応の強化と共有化を図る。④生徒支援（不登校）委員会の定例化。⑤地域のゲストティーチャー等地域素材や人材のより一層の活用。⑥生活相談シートの活用	○地域人材や地域の教育資源の利用についても、コロナ禍の影響は否めないところである。とはいえ、こども達の地域を愛する心を育成するにあたり、新たな手立てを見いだしていくことが重要だろう。 ○『加美中now』やHP等で、中学校の情報を発信されているが、今後はタブレットなどの活用が一層進みそうに思う。今後とも、積極的に取り組んで欲しい。 ○小学校との連携をどのようにしていくかが今後の課題である。こどもたちの発達には大きな個人差がある。個別最適化した対応を実施するには、中長期的見地が欠かせないと思う。
	教育活動への満足度	保護者の声に真摯に耳を傾け迅速対応	保護者の教育活動満足の指数昨年度以上	2.3	2.3	2.3		2.4	2.3	B	A		
	特別支援教育の推進	専門性を活かした適切な教育支援	特支コーディネーター・SC等を活用した支援を評価する教員の指数昨年度以上	2.2	2.0	2.2	2.2			B	A		
	ふるさと教育推進	関係機関等と連携したふるさとの教育資源の積極活用	ふるさと教育資源活用を評価する教員の指数昨年度以上	1.9	1.7	1.8	1.8			C	C		
	不登校いじめ防止の取組	関係機関との連携による不登校対策といじめ防止基本方針の実行	不登校いじめ防止の取組を評価する教員の指数昨年度以上	2.7	2.6	2.6	2.6			A	B		
学校目標	人権尊重力	生活ノートや生活相談シートでのいじめの早期発見と対応	人権を尊重する生徒の指数昨年度以上	2.5	2.5	2.5	2.8	2.5	2.3	A	A	生活相談シートの活用と対策委員会の定例化。	○中学生の時期は、本当に大きく成長すると感じる。往年に比べ生徒数も大きく減少しているが、これからも仲の良い加美中のままでいてほしい。 ○地域・保護者・学校が連携して、こども達を守っていかねばいけない。地域性もあるうが、加美中のこども達は健やかに育ってきている。難しい状況下ではあるが、これからも心豊かな生徒の育成を目指して欲しい。
	ふるさと力	関係機関との連携によるふるさと教育の場の設定	ふるさとを尊重する生徒の指数昨年度以上	2.3	2.3	2.3		2.3		A	A	関係機関と連携したふるさと教育推進。	
	ゆめ挑戦力	キャリアノートの作成活用	ゆめに挑戦する生徒の指数昨年度以上	2.5	2.4	2.4		2.4		A	B	3年間のキャリアノートの作成活用。	
	自立力	教師の支援による生徒会リーダー研修会による活性化	自立につながる行動や考えを持つ生徒の指数昨年度以上	2.4	2.3	2.3		2.3		A	B	教師の支援による生徒会リーダー研修会などによる生徒会活性化。	

※1 生活三訓とは「時を守り・場を清め・礼を正す」こと。※2 PDCAとはプラン(計画)ドウ(実行)チェック(評価)アクション(改善)の略　※3 HPとはネットのホームページの略

※4 SCとはスクールカウンセラーの略称。※5キャリア教育とは望ましい職業観・勤労観等を身につけ、自己の個性を理解し、主体的に進路選択する能力・態度を育てる教育

※ 目標値・・・・・・昨年度の評価指標の実績
達成値　・・・・・・本年度の評価指標の実績
自己評価指数・・3:よく当てはまる　2:当てはまる　1:あまり当てはまらない

※評価値・・・・・・A　非常によい(全項目2以上かつ目標クリア)
B　よい(未達成項目があるもほぼクリアしている)
C　今後改善を検討していく(2項目未達成)

※評価アンケート実施時期は、
・10月の中間アンケート
・2月の後期アンケートの2回とする。
※ケガの発生については1月末現在、
※読書調査については1月末のアンケート調査。